



# REINANZAKA SCOUT CLUB



2013年  
10月5日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403  
ホームページ <http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

No.45

## 霊南坂スカウトよ永遠なれ

教会役員ボーイスカウト担当 湯浅 健夫



古い教会をご  
存じの方は覚え  
ていらっしゃる  
かも知れませ  
んが、我家は教会北  
側、鼓坂を挟ん

だ向かい側にありました。氷川小学校5年生の時、クラスメート数名(故加藤理夫君、小林隆君等)が霊南坂教会ボーイスカウト(正確にはカブスカウト)に入隊しました。私も入隊するつもりで、期待に胸を弾ませ、準備をし、友達と体験入隊をしました。入隊にスカウトの制服が必要と分かり親に相談した所、日頃から子供を甘やかさず厳格であった父は、制服が無くてもスカウト活動は出来る、全く支障はないと許可しました。父に交渉してくれた方もいらしたかも知れませんが、青山学院で教鞭を執っていた父にそう言い切られれば、それ以上説得しようも無かったと思います。勿論日本は未だ戦後の混乱を引きずっており、小学校に下駄で通う生徒もおりましたから、強ち父の感性が荒唐でもなく、昭和20年代はそういう時代でした。霊南坂教会スカウトの歴史を緋けば創立は昭和22年。教会創立から係わった家ですので、父も子供の時から教会に通っていましたが、スカウトはなかった。もし父もスカウトに入っていたら、或いは理解があった

かも知れません。

結局それが理由で入隊せず、教会からも、少しずつ遠ざかっていきました。2003年度より役員としてボーイスカウト担当となり今年で10年。毎月第3週土曜日に「東京港第1団」の団委員会でご各スカウトのリーダー、隊長からの報告を聞く度、これまで経験した事のない新鮮さを覚えました。野辺山キャンプに同行し、子供の時に体験できなかったスカウト活動を行う機会が与えられた事も大きな喜びでした。豊かな自然の中で、共に礼拝し食事をし、昼は野外活動、夜はキャンプファイヤーと心身共に健やかで豊かな時を過ごす。大人になって体験したからこそ、子供の人格形成にどれほど大切であるかを痛感する事が出来たと、感謝をする日々です。

又2005年に団委員長になられた杉原正氏の説かれる、教会に於けるスカウトの意義、チャーチスカウトの理念にも深く共感いたしました。皆様もよくご存じの様に、105年前に始まったスカウトの創始者ベーデン・パウエル卿の父君は神学者であり牧師でした。西洋はキリスト教が精神のベースですが、その中でも特に信仰深い家庭で育った卿の理念、教えはキリスト教無くして伝わりません。スカウト活動は布教の場ではありませんが、しかしスカウトの精

*Never say die till you are dead.*

*The Scout Motto*



ベーデン・パウエル卿の言葉

**死ぬ時まで、死ぬと云うな。**

神を伝える為には避けては通れない、ある意味そこまで伝えてこそ完結するものと思います。この10年、少しずつではありますが、その方向に進んでいる様に思い、嬉しく思っております。

昨年は霊南坂教会スカウト65周年、ボーイスカウト日本連盟創立90周年の年。そして再来年は第23回世界スカウトジャンボリーが「山口県のきらら浜」で開催。その下準備を兼ね今年の日本ジャンボリーはきらら浜。その報告を9月団委員会でご聞けるのを楽しみにしています。

霊南坂スカウトクラブHPのトップに「一度、スカウトに関わった者は、いつまでもスカウトだ！」とあります。来年スカウト担当から外れますが、生涯霊南坂スカウトの一員と決意新たにしております。

## スカウトクラブ バザーに向けて 軽井沢ルバーブジャム工場操業

西谷芳美



昨年に引き続き、今年も霊南坂教会バザーに向けて西郷邸における軽井沢ジャム工場が操業されました。

ルバーブとは、タデ科の多年草でズイキやフキのように葉軸を食べます。それ自体は酸味が強いのですが、砂糖との相性が良くジャムにすると美味しくなります。軽井沢で手に入るルバーブは質の良いものなので、スカウトクラブ女子会でジャム作りをすることになったのです。バザーに出品してクラブの活動資金確保が第一ですが、夏の軽井沢で懇親を深めるというのも大きな割合を占める一大イベントです。今年は7名参加で2泊3日の操業でした。毎回男性陣にも声をかけるのですが、皆さん恥ずかしいのか忙しいのか、参加の手が挙がらないのが残念です。

2度目となる今回は手際も慣れたもの。瓶のラベル剥がしから始まり煮沸する者、ルバーブを洗う者、傷んだ部分を切り落とす者、一度に煮る重さを量り砂糖の量を計り分ける者、ひたすら浮き上がる灰汁を掬って美味しくなあれの呪文を唱える者と、着々と作業は進んでゆきます。その合間に元スカウトである私達は美味しいおいしい食事の支度もします。



もちろん、ジャム作りも忘れてはけませんよ。出来上がった熱々のジャムを瓶にたっぷり詰めてギュッと蓋を閉めるのは、なかなかの重労働です。そうして出来上がった200個のジャムの瓶を前に私達は子供の様な歓声を上げます。

スカウトであって良かったと心から思います。脈々と続くスカウト精神が自分の中に育まれている事を感じます。

来年は皆様、ぜひ軽井沢ジャム工場にご参加ください。まずは10月26日のバザーにお越し下さい。スカウトクラブの笑顔と美味しいジャムがお待ちしています。



**夏キャンプを終えて シニア 浦江 香菜子**

世界遺産に登録され、連日たくさんの人でにぎわう日本一の山、富士山。私たちがお世話になった山中湖村営キャンプ場はそのふもとにありました。

3泊4日のキャンプの中で私が1番思い出に残っていることは、3日目に行ったカヌー体験です。カヌーに乗るのは初めてで、想像以上に腕がいたくなりました。また、違う部門の子たちと協力してカヌーに乗ったことで、部門を越えた友情が生まれたと思います。

今回はカヌー以外でも他の部門と一緒に何かをすることが多かったと思います。お互いに助け合いながら楽しい4日間を過ごせたことは本当によい思い出になりました。普段の集会でも、今回生まれた絆を大切に、部門を越えて楽しく活動していきたいです。

**夏キャンプ レンジャー 香川 美帆**

美しき山中湖のほとりで大自然に囲まれて、私たち4団のガールスカウトは夏キャンプをしました。私はスカウトの中では最年長として、また、スカウトとして最後の夏キャンプの参加だったので、今までとは違って感慨深かったです。

レンジャーともなると、リーダーの手を借りずに自分たちだけで活動することも多くなります。それは楽しいだけではなく、大変でもありました。あいにく、初日のキャンプ場への到着が遅れてしまいました。設営の時間が十分になかったけれど、みんなで協力してテントやタープを建てることができました。

また、山中湖でカヌーをしました。想像以上に漕ぐのが難しく、お互いに声を掛け合って息を合わせなければいけませんでしたが、疲れたけれど、楽しく清々しかったです。まだ他にも多くのことを経験しました。夏キャンプは様々な経験を通して仲間との信頼関係を築き、多くのことを吸収し、自分の魅力を引き出すことができます。キャンプを通して得たものを大切に、これからの活動にも役立てていきたいです。

**思い出に残ったこと ブラウニー 宮田 真悠子**

私が思い出に残ったことは2つあります。一つ目は、おさんぼです。なぜかという、田畑の精と水の精に別れてキャンプ場を回ってたんけんをしました。キャンプ場のことをよく知れたからです。

もう一つはキャンプファイアーです。なぜかという、ジュニア、シニア、レンジャー、リーダーがいろいろな出し物をしてくれておもしろかったし、大きくなったらこんなにたくさんの歌を覚えるんだな〜と思って勉強になったからです。

**訃報**



ガールスカウト東京第4団の副団委員長として長年奉仕された、矢島尊子さんは病氣療養中でしたが9月7日永眠されました。生前の矢島さんのお働きに感謝いたします。

**追悼文**

「あんこ、まだ照りがでないね・・・」  
「五目の目印がないと分かりにくいか」  
「どら焼きいくつ買うの？」

バザーの前日、当日は毎年てんでこ舞い。貴方はガールスカウトの幼い時から半世紀、霊南坂教会バザーに関わってきたのですね。これからは天国から私たちに指示してください。

貴方がガールスカウトに特別な思い出があるのは、幼いスカウトの時、素敵なリーダーが包み込んでくれる優しさや安心感が心地よい場所となったのでしょうか。

今度は私たちが頑張るからタカちゃん！見守っててね。

浅田きよみ

2011年4月1日、社団法人ガールスカウト東京都支部は、一般社団法人ガールスカウト東京都連盟となりました。これは、国の政策として法人格を持つ団体は2013年10月までに公益団体にするか自主活動団体にするかの選択を迫られたことによります。日連が公益になると、支部という構成は認められなくなるので、支部は独立して一般社団法人にするか条件が満たなければ自主活動団体になるかの判断を迫られました。東京都支部は一般社団法人への移行を希望しました。といってもそれほどの変化があるわけではありません。法規に従って定款を作成すること、会計のチェックがあるので帳簿をしっかりと付けることが義務づけられることくらいでしょうか？定款のなかでは役員は理事になり役職は互選となりました。

ところで、この作業をする時点で問題が発生しました。日連は2012年4月に公益の資格を取得するための準備をしていたのですが、東京都支部は2011年4月、日連より1年早く一般社団法人の資格をとるために画策をしたのです。日連がいまだ一般社団法人であるときに支部が同じ一般社団法人になることは法規上おかしなことになるわけですから、いくつかの団は2011年に変更することに反対をいたしました。

4団もその1員でした。スカウトの保護者で弁護士の先生に教えていただきながら、同じ考えの他の団の人と何回も勉強会をいたしました。しかし、度々行われた臨時総会での支部の答えは明確ではありませんでした。2011年の4月1日は月曜日なので切りよく登記できるが、2012年だと1日は日曜で2日の登記になってしまうとの返事があったときには勉強会の団のものは本当にガックリしたものです。結果は51対49票。多くの不審をかかえて発足した都連となりました。2012年日連が公益法人となりましたので齟齬は解消されましたが、わずか1年で齟齬のあった定款を何箇所か書き換える作業をしたのです。

この時、仲間となった団と集会など協力しているのがときどきお話しする、ほほえみの会です。現在、都連は会計状態が逼迫しており先が見えません。いつ何かが起こっても団がしっかり立てるようにとかんがえています。

幸い4団は今年度スカウト数が増えブラウニーは15名になっています。大人の考える組織がどのようになってもスカウト運動は当初の理念をしっかりと守って続けていきたいと考えています。今後も一層のご支援をおねがいたします。

### 霊南坂ボーイスカウト

#### ラフティング

#### ボーイスカウト隊 北 哲矢



ぼくがキャンプで一番心に残ったことはラフティングです。最初ボートに乗る時の説明で、おぼれる人もいると聞いていたので、ドキドキしたけど無事に終わってとてもよかったです。

ボートに乗っている時に、水のかけあいやバランスゲームをして、あまり水を相手にかけれなくて、くやしかったし、バランスゲームの時は、ボートから落ちてしまい、その時は死ぬかと思って、水が大きいらいになりました。ぼくがラフティングで一番楽しかったのは、みんなでボートをこいでいる時でした。なぜなら、川の流れが急な時、岩とかにぶつかり、とても楽しかったからです。帰りのバスの中で、川の水量が200トンまでラフティングができると聞いたので200トンの時に、できれば来てみたいと思いました。

今年も元気なスカウトが上進しました。ビーバーから2名、ボーイ1名、ベンチャー3名の内1名は菊を目指して残留です。



## 「第16回日本ジャンボリー・第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー」開催

2013年7月31日(水)～8月8日(木)に「第16回日本ジャンボリー16th Nippon Jamboree」・「第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー30th Asia-Pacific Regional Scout Jamboree」が山口市阿知須・きらら浜を会場として開催されました。

霊南坂スカウトからは増山さんをリーダーに10名のスカウトが参加しました。霊南坂スカウトのOG・OBで組織するAJ-SEPはAPR(世界スカウト機構アジア太平洋地域)とボーイスカウト日本連盟と連携して、アフガニスタンからスカウト2名とリーダー1名が参加できるよう航空運賃と参加経費負担の支援をしました。

### 増山孝子 第16回日本ジャンボリー派遣隊 東京第2隊副隊長(東京港1団カブ隊隊長)

8月7日朝、私たち東京第2隊のキャンプサイトにアフガニスタンのスカウトとリーダーが訪ねて来ました。

東京第2隊では朝礼の時間でしたので、早速、奈良崇文隊長よりスカウト達に3名を紹介しました。その後、モハンマドリーダーより3名の名前の紹介があり、奈良隊長が歓迎の言葉を述べられ、ボーイスカウト大都新地区のワッペンやネッカチーフを差し上げました。アフガニスタンのスカウトは一人一人と握手をして全員で記念撮影をしました。スカウト達はたちまち親しくなって帽子にサインをしたり記念品を渡したりして交歓していました。

3人の印象は礼儀正しくニコニコしていて、とても好感が持てました。



#### 矢野智大

#### ボーイスカウト隊

ジャンボリーのキャンプサイトにアフガニスタンのスカウト2名とリーダー1名が、朝訪ねてきました。朝礼の時全員と握手をしましたが、私は会話が出来ませんでした。

アフガニスタンは長い戦争で大変だったと聞いていたので、よく日本に来たと感心しました。同時にスカウト運動の素晴らしさを改めてスゴイと思いました。

期間中、外国スカウトとの交歓会の企画が2回ありましたが、大雨で流れてしまい、このアフガニスタンスカウトとの交歓会が唯一で印象深かったです。

近所のキャンプサイトで外国スカウトと出会い、バッジの交換をしたりしましたが、私は英語が充分でなく班長に頼っていました。

そこで、2015年の世界ジャンボリーまでに英語を上達しようと強く思いました。



#### 鈴木隆斗

#### ボーイスカウト隊

バスで長い道のりの後で着いた山口の会場は、とても広大な土地で驚きました。毎日が暑く、降ったら大雨でした。

僕は、セレモニーの音楽と万人の歓声、雷のどろきを思い出します。また見学に行った広島では、人が多くてゆっくりと見ることはできませんでした。なんとなく戦争は怖いと感じました。

様々なアクティビティに参加してサイトに帰ってくると、テントサイトの芝が牧場のような匂いで心地よく、今日も頑張ったなど安心しました。

「暑い、暑い、」の言葉しか出ないとき、雨でビショビショのとき、汗びっしょりのとき、いろいろあったジャンボリーでしたが、楽しくいろいろな人と交流ができて感動しました。

次の世界ジャンボリーにも絶対参加をしたいと思いました。

B-P 卿のラストメッセージなどを研究されている、オールドスカウトの於保信義氏(広島県在住) に B-P 卿の教えについて寄稿をお願いしました。

於保氏は B S 日本連盟発行の「B-P の展望」(B-P's Outlook. Scouts Canada 1979) 及び「隊長の手引き新訳版」世界友愛版「Aids to Scoutmastership World Brotherhood Edition 1949」の翻訳等をされています。

スカウト教育法/Scout Method は7つの要素から成っています。それは、おきてとちかい、小集団活動、個人的進歩、行うことによって学ぶ、象徴的枠組み、成人との協力関係、野外での活動です。ごく簡単に私の解釈を述べさせていただきます。

**おきてとちかい:**他の青少年教育組織には見られないものです。おきては生きて行く上で守る/code of living 自分のきまりであり、ちかいは神(仏)・自分・他へのつとめを果たすことに最善をつくすと宣言することでスカウトになります。ところが、日本のちかいはには最善を尽くす I will do my best という語句がありません。B-P はこの語句を入れることでスカウトへの負荷を弱めました。

**小集団活動:**社会性を身につけるために年齢に応じた人数の小集団で活動するものです。パトロール・システムを班制度と訳すのは誤訳です。パトロール・システムは「良き character (性格) 作りと民主主義を学ぶ学校」言われています。

**個人的進歩:**進歩制度/Badge System と呼ばれていますが、それは一人ひとりに応じた課題を設定し、それを達成するというものです。これは設定された課題は同じでも達成結果は一人ひとり異なるもので、競争的に行われるものではありません。人は競争することで進歩するというのは間違っていることが今では分かっています。

行うことによって学ぶ:机上の学習ではなく実際に行うことによって学ぶということです。人は失敗す

ることで学ぶのです。

**象徴的枠組み:**スカウティングはカブなら動物の群れの一員、スカウトなら開拓者、ローバーなら旅人を背景にするといった象徴を使っています。

**成人との協力関係:**スカウティングは成人の支援が前提となって行われる活動です。スカウト指導者は支援者に過ぎません。

**野外での活動:**野外にごまかしはききません。その都度条件が異なるので創意工夫をすることが求められる総合的な学びの場であり、何よりも上記の全ての要素を実践することができる場だからです。だから教場なので

スカウティングはこれらの要素が相互に関連しあって行われるのでシステムと呼ばれます。システムとは一つでも使えるが、他の要素のものを組み合わせるならもっと大きな効果をもたらすというものです。例えば、交響楽団はシステムです。個々の楽器は一つでも演奏は可能ですが、それが増えていくほど曲は重厚なものとなり

力も増します。日本連盟の教育規程が班制度と進歩制度の二大制度を教育法としているのは明らかな間違いです。システムは制度ではありません。

7つの教育法は変わりませんが、そのやり方は時代の発展と共に変わるものです。現代の青少年は生まれた時からテレビ、IT 器機に囲まれています。スカウティングは運動であると B-P はしきりに言ったのは、それは時代に応じたスカウティングを展開しなさい、という意味であったのでしょう。だから、B-P はスカウティング・フォア・ボーイズを亡くなるまで修正し続けたのです。



TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木 1-3-41 (アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂 3-4-9

TEL:03-3422-5538 FAX:03-3421-3034

<はじめに>

霊南坂教会でのスカウト活動は、1947年2月22日に始まり、今日まで神様のお守りのなか、教会関係者のご理解と多くの方々のお支えによって67年目の歩みを始めました。

この67年目の歩みは、育成母体である霊南坂教会134年の歴史と重なり、丁度教会の半分の道程を教会と共に歩ませていただいたことを感謝いたします。

私が港第1団(旧東京第4隊)の出身であることを知ると多くのスカウト仲間たちから“歴史ある団、また伝統のある団、あるいは教会の団ですね”と声をかけてくれます。同時に霊南坂教会と言うと“大きな教会、歴史のある教会、また伝統のある教会ですね”と羨ましがられます。

私は、この教会のこの団で育てられ、これまでスカウティングを続けてこられたことに心より感謝すると共に、このことに誇りを持っています。昨年65周年を機に団委員長などの現役を退かせていただきましたが、団では大変光栄なことに名誉団委員長に推され“Once a Scout. Always a Scout”の精神で霊南坂スカウトとの関わりを継続しています。

団の誕生とその歴史については、これまでにお話をしたり、書いたりしてきました。“歴史輝く霊南坂に”の歌詞にある団歌を含めて“歴史ある”ことについて<歴史とは、過去と現在の対話である>の英国の歴史家E.H.カーの言葉を通して共に学びました。また、「言葉の人」と言われるヴァイゼッカー元ドイツ大統領が1985年5月8日に国会で行った敗戦40年の「荒れ野の40年」の演説の中での言葉“過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも盲目となります”。また“歴史を

心に刻む、というのは、歴史における神のみ業を目のあたりに経験することであります”とキリスト者として示されていることを忘れてはいけません。

<伝統ある教会>

この機会に育成母体である霊南坂教会のことについて少し述べたいと思います。

港第1団、また霊南坂教会には“伝統ある”という言葉がよく付けられることに注視しなければなりません。この“伝統ある”の言葉について「霊南坂教会100年史」(1979年10月)の中で“伝統ある教会”について次のように記述されています。

『我が国におけるキリスト教は、当初欧米の諸教派、諸教会の宣教師たちによってもたらされたが、それ自体すでに様々な教派的伝統や制度的枠組みをもつ、歴史的な性格を帯びた教会を通して伝えられたことを意味する。

従って我が国においてキリスト教がどのように受け止められ、どのような発展過程を辿ってきたかを見ることは、わが国における諸教派の歴史を見ることと密接不離の関係にあると言えよう。そういう意味で、霊南坂教会100年の歴史は、ただ一つの教会の足どりに留まらず、わが国のキリスト教の軌跡を知る上においても重要な素材の一つであろう。

そこで先ず霊南坂教会100年の歴史を見る際の基本的視点が明らかにされなければならない、それは一口で言えば「伝統」ということである。』

<言い伝えられるべきもの>

『新約で「伝統」に相当する語は“パラーシス”で、これは「言伝え」と翻訳されており、その意味は「手渡す」ことである。日本語では明治時代に“tradition”の訳語として「伝統」という言葉が作られたようであるが、

これもまた「手に渡す」という語源からきたと言われている。しかし、今日ではこの「伝統」という言葉のもつ概念規定が必ずしも一様でないことは事実であり、その使い方によっては、これほど曖昧な言葉も珍らしいともいえる。

桑原武夫氏(注: 仏文学者、評論家、京都大学名誉教授、文化勲章受章者)は『伝統と近代化』(1951年)という論文の中で「伝統とは」理念という意識的な面と、慣習という無意識的な面とを包括した概念であると言っている。

そのことをキリスト教にあてはめると、「言伝え」ということは理念的に捉

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ  
カタログ  
リーフレット  
パンフレット  
名刺  
DM  
その他広告&  
販売促進ツール  
ハイグレード  
格安  
デザイン・印刷  
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブン・センス CALL 03-3583-0877  
〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F FAX 03-3589-5181  
Mail info@7sense.co.jp



えられる面と、慣習的に捉えられる面との双方を含むことになる。しかし本来、「言い伝えられるべきもの」は、単に外形的なものではなく、やはりその中味であるはずである。

このことを聖書的にみるならば「言(ことば)が肉体となって」この世に啓示された「福音」を指し示している。それがこの地上の教会を通して実現し、成就するとすれば、そこには何らかの媒体を通して象徴的に顕されているほかはない。そしてそのことが実は代々の教会が生命をかけて守り、正しく宣べ伝えていく唯一の拠り所となったものである。それがすなわち教会の伝統と呼ばれるものである。

従って「伝統」という語は、単に「言伝え」の総称というだけではなく、その実体を指示し、それに主体的に結合させていく原理という意味で、“tradition”よりは“identity”(結合の母体、独自性)の方がより妥当な言葉であろう。

このように「伝統」という言葉の使い方や意味・内容は千差万別である。そこで今われわれは「伝統」という用語の概念規定を、霊南坂教会の100年史の背景ともいうべき視点を明らかにするために、特に名付けることができないが、限定した意味で用いたいと願っている。(中略)

宗教改革者ルターの「キリストを運ぶところのものが使徒的である」という有名な言葉は「使徒的」という言葉の中心内容を示しているが、そのことが歴史上の教会において、ことにわれわれの霊南坂教会において、どのように内実化されていたか、すなわち教会は常に主イエス・キリストを正しく運び、生命をかけて守り、宣べ伝えてきたか、その意味で「伝統ある教会」であったかが問われなくてはなるまい。

134年を経た現在にあっても、この指摘を深く受け止めると共に教会に根差す霊南坂スカウトが創始者ベーデン・パウエル卿の信仰したキリスト教と彼が掲げた理念を正しく運び、生命をかけて守り、宣べ伝えてきたか、が強く問われています。

ここで世界と日本のキリスト教小史の概略を共に理解しておきたいと思います。

### <世界のキリスト教>

キリスト教が誕生して約2,000年。ローマの社会の各層にキリスト教が広がると誤解と偏見に基づいて、それを撲滅しようとする迫害が起り、ローマ政府による最初の迫害は、西暦64年頃皇帝ネロによって行われました。

ローマ帝国がキリスト教を公認したのは313年で、国法により異教を禁止して国教としたのは379年。ロ

ーマ帝国は395年に東西に分裂し、更に476年に西ローマ帝国は北方から侵入したゲルマン民族により滅亡します。その結果キリスト教会はローマを中心とする西方教会とコンスタンティノポリスを中心とする東方教会とに分かれます。西方教会はローマ・カトリック教会、東方教会は東方正教会と呼ばれ、1054年には両教会は完全に分離し、東方教会はギリシャ語を用いることなどからギリシャ正(統)教会と言われ、その後この信仰はロシアに伝えられ、ロシア正教とに分かれます。

西方教会(ローマ・カトリック教会)は、国家の権力に対して教会の独立を守ることに努め、その後の中世のカトリック教会は、地上の権力を握ることになります。このことで武力により異教徒を滅ぼそうとする十字軍の遠征と拷問による異端者に対する宗教裁判が始まります。

この後十字軍の失敗や教会内部の諸問題でローマ教皇の権力が失われ始め、また贅沢な暮らし、道徳の退廃、財政の悪化などがあり、これを救済するために免罪符を発行しました。

マルティン・ルターによる「宗教改革」は、この免罪符に関する論争から始まり、1517年に免罪符は無効であるだけでなく信仰を墮落させるものとして95条の提案をヴィッテンベルグの教会の門に掲げて宗教改革の発端となりました。

宗教改革によってカトリックから分離した人を称してプロテスタント(新教徒)と呼ばれて新しい教会制度を確立しました。

プロテスタントの原理は<聖書のみ>、<信仰のみ>、<万人祭司>などによって特徴付けられています。プロテスタントはその後の時代を経てルター(ルーテル)派、改革派、バプテスト、そして聖公会、長老派、組合派、メソジストなどの諸会派に分かれます。

### <キリスト教の伝来と布教>

最初に日本にキリスト教が伝えられたのは、学校で『ザビエルの〈以後よく(1549)〉伝わるキリスト教』と覚えた1549年(天文18年)、スペイン人のイエズス会修道士フランシスコ・ザビエルであり、鹿児島に上陸した後に平戸、山口、大分、京都など日本での布教は2年余りでした。

この時代は戦国時代であり、ローマ・カトリック教会各教派から派遣された修道士によって日本での布教が始まりました。1563年に九州では肥前大村の大村正純が平戸で洗礼を受け、大友義鎮、有馬晴信など、また京都では高山右近、小西行長などのキリシタン大名が現れると共に、修道士の布教によって一般民衆にも広がっていきました。

しかし、様々な経緯のなか 1587 年に豊臣秀吉によるキリシタン禁止令(バテレン〈宣教師〉の国外追放令)が出され、キリシタンに対する迫害が強くなります。

1590 年に九州天草でキリシタンを主体とする百姓一揆が起り、また 1597 年には秀吉の命で、長崎においてフランシスコ派修道士 6 人と日本人少年 3 人を含む信徒 20 人が公開処刑され、「26 聖人の殉教」として記念されています。

また、1611 年には徳川家康によって「キリシタン禁止令」の高札が立てられ、京都の公会が壊されます。更に 1614 年の「追放令」を始めとする一連の禁教政策がすすめられます。1637 年に農民・キリシタンを中心とした天草四郎を指導者として島原・天草に「島原の乱」と呼ばれる一揆が起きます。

1639 年に第 3 代将軍家光は、この一揆後に厳しくキリシタン教を禁じ、布教に関係あるポルトガル船の来航を禁止して鎖国が完成します。併せて各地でキリシタン狩りが行われ、九州各地では特に厳しい役人の監視の中でも信仰を守り通す者があり、「隠れキリシタン」と言われ、200 年以上に亘って禁教時代のなかをキリシタン教信仰を守り抜きました。

#### <宣教師たちの来日>

230 年にわたる鎖国の後、1853 年ペリー艦隊による黒船の来航、そして 1858 年幕府とハリスの間で結ばれた「日米修好通商条約」を最初の足がかりとして翌 1859 年に来日したプロテスタント(新教)の外国人宣教師たちは、公然とした伝導は許されぬまま聖書の邦訳、讃美歌の作成、日英辞典の編集、医療活動、教育活動などに携わりました。

明治初期の社会情勢としては、当時の日本における西洋文明に対する積極的な受け入れの風潮があり、これに応ずることができたのは、高度な知識と教育的見識をもった宣教師であり、また宣教医やキリシタン教主義教育家でした。

彼らは招かれて官立や公立の学校で教えたり、自ら私塾を開いて日本人の教育に携わり、学生、青年たちはそこで英語や洋学を学ぶうちにキリシタン教を知り、教師との人格的な触れ合いを通してキリシタン教の感化を受け、ついにキリシタン教に入信するものが現われました。

宣教師たちが居住した地域にキリシタン教が受容され、具体的には外国人居留地(函館、東京、横浜、大阪、

長崎)、また招かれて活動した場所(札幌、弘前、静岡、京都、三田、岡山、熊本)が拠点となりました。

各教派のいかに問わず宣教師たちが共通して祈り求めていたことは、キリシタン教禁制の撤廃と宣教活動の自由であり、宣教師と共に活動したのが前記の宣教医と教育者たちでした。

そのいくつかを挙げると 1859 年に米国改革派教会宣教師 C.H フルベッキは、来日した長崎、佐賀で英語を教え、大隈重信、副島種臣らを育てます。同年に米国聖公会宣教師 L.M ウィリアムズが長崎に、日本最初の主教となり 50 年にわたり伝道と教育に献身し、立教学院、立教女学院を創設します。

同じく米国長老派宣教医 J.C ヘボンが横浜に診療所を開き、治療にあたりと共にヘボン式ローマ字を普及し、1863 年明治学院の先駆となるヘボン塾を横浜で開き、一致神学校を経て同学院を創設します。

#### <バンドの青年たち>

宣教師、宣教医、教育家たちの影響を得て、横浜、熊本、札幌などに相次いで青年たちがキリシタン教信仰を得て活動を開始し、「バンド」と呼ばれます。

#### 次号につづく

#### (参考資料)

霊南坂教会 100 年史

日本プロテスタント・キリシタン教史 土肥昭夫

キリシタン教ハンドブック(改訂版) 佐藤陽二

紙数の関係で次回以降、数回に分けて掲載いたします。今後の内容は次の通りです。

<バンドの青年たち><霊南坂教会の成り立ち><鐘楼のある教会><tradition → 伝統>の翻訳<継承すべきこと><グローバリゼーションがすすむ中で ~おわりにかえて~>

早く読みたい方はメールにて [stp@nifty.com](mailto:stp@nifty.com) 田中新二までご請求ください。PDFデータを添付、送信いたします。

## 六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理



\* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています \*  
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階  
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階  
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

# 霊南坂スカウトクラブ 告知板

## 月例会集会においでください

毎月の役員会を、皆様に気軽に参加して頂くオープンな月例会集会に改め現役時に戻り、飲んだり食べたり、楽しい集会にしたいと計画しております。

### 原則毎月（8月は休）第2水曜日

（祭日に当たる時は第3水曜）19時～  
神谷町のエリーで開催いたします。

お問い合わせは

stp@nifty.com 又は 090-3341-7311

田中新二まで・・・

お待ちしております。

## スカウトクラブのホームページ

霊南坂スカウトの最新情報から昔懐かしい写真まで、いろいろな情報が詰まったホームページを臼井純一兄が精力的に運営しています。スマートフォンやタブレットからでもご覧いただけます。

<http://reinzaka-sc.o.oo7.jp/>  
随時更新して、新しい情報を掲載しています。また皆様からの情報提供をお待ちしています。

## オリンピック

2020年の夏季オリンピックは東京での開催が決定して、スポーツ界はもとより、経済界・産業界こぞって7年後に向けてスタートしました。平和の祭典「オリンピック」ではボーイスカウト・ガールスカウトが活躍する機会が多く、各国のオリンピックでもその姿を見ることができます。

1964年（昭和39年）の東京で開催されたオリンピックでは霊南坂スカウトが国旗掲揚など多くの場面で活躍し、貴重な体験と思い出を作りました。7年後に向かって何事も、自信満々のスカウトに成長するようスタートしましょう。

## つばきの伝言板

下のワンコの広告をご覧ください。文具店「くさかべ」を経営している日下部英一兄がユニークな広告出稿をされています。このデジタル時代に文具店らしく手書きのアナログでメンバーに広告スペースを提供しているのです。まさにスカウトの鏡？・・・ではないでしょうか。

皆様からのこの会報への広告出稿をお待ちしています。

サイズ：11.3×8.2cm

掲載料：1回3,000円×年2回予定  
デザインなどはスカウトクラブでもお手伝いいたします。

## これからのスケジュール

10月05日 クラブ会報

NO. 4 5 発行

26日 教会バザー

12月14日 スカウト合同クリスマス

## スカウトクラブへのメールは

御意見、情報、ホームページ、会報などへの投稿は下記にお寄せください。

stp@nifty.com

## 霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄 霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二 クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子 総括
会計・団	大槻敬太郎
会計	小林孝江
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信・団	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	澤田明秀
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代 ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一

塚田洋子さんより

みなさん、はじめまして！  
赤ちゃんからおばあちゃん、おじいちゃん、  
まだまだいけるシングルガール&ボーイ！  
クラブに「つかこんち」にお立ち寄りください！  
自家製和風ピクルスがお待ちしています。

〒202-0014 東京都西東京市霊南坂4-7-19

「つかこんち」代表 塚田洋子  
TEL & FAX 042-461-1075

事務用品・文具・オス家具

くさかべ

TEL 03-3400-0331 FAX 03-3400-0377

伝言  
募集中!!



柳 健一さんより

※ありがとう。みなさんのご支援により、  
アガニスタンのスカウトが3名、日本  
ジャンボリーに参加出来ました。

※ありがとう。スカウトクラブ提供のスカウト  
サンデーの公演が、スカウト達に好評です。  
本邦物を見せていくると言っています。

## 編集後記

今年の夏は例年になく猛暑が続き、熱中症で倒れる人、竜巻、豪雨、がけ崩れなど自然災害が多数発生しました。

日本ジャンボリーに参加したスカウトや各地の自然の中で活動したスカウト達は「あつい！」「暑い！」と言いながらも無事、たくさんの新しい経験をしました。その中で印象的なことは、ジャンボリーに参加したスカウト達が外国のスカウトと「会話ができなかった」ことの悔しさを体験したようです。外国語に限らず「会話力」を磨くことは生涯の宝となるでしょう。

田中新二